

親愛なる全徳業員諸君！

諸君よく知る様に去る三月十三日、会社は大和とし、全員無勤怠告げ  
長年我々と共に会社の仕事に携つて来た。我々親心因縁を二十五年を越へ  
ほんの僅か不稼金全く休けり。而も会社は前首者の祐吉は社員は一云も請負  
の理由を堂々述べることを出来ず、はるかに会社の都合で仕方が無い」と云ふて一方、  
残る勿論従業員に対するは「今度首次になつた本共産党員莫属」との何人かが有つて、盛ん  
に二十六人の件、即ち傷亡死後看護金になつてゐる。何たゞ卑劣だ。全く大に劣る  
行為ではないか？

だが諸君！ こうした事が一族の人々があながて長時間従事せられた事に喜んでいた我々  
は一番よく知る。二十九人は、全く従業員の利益の爲に始終實実によく勤  
いと吳永在。然れば従業員は二十九人は村上と深く感謝せざれど、決して会社が我々に去  
ひらしかねる程か、悪人などとは信じない。  
諸君！ 我々が去る三月、餘りの薄給に堪りかねて給料三割の値上げを要求した時に、この  
要求實現する為に我々の先頭に立つて最も勇敢な者たち途中から裏切つたりしな  
が最後まで戦つて吳永在は三割値上げを実現した吳永在人は一体誰だ？ 諸君！  
これ六月近くも諸君の胸には今と今こそある筈だ。

諸君！ あの三月十四日五時に出立ても見よ、あの暮階うし我々全徳業員の姿  
諸君！ 諸君にはもうおのづから様な事は元気が無く左派の政治家が立候